

昭和の子どものおうち時間

ごあいさつ

ここ数年、コロナ禍の影響で積極的に外に出ることがためられるようになり、いわゆる“おうち時間”が増えました。新たな生活スタイルに合わせたツールも多く生み出されていますが、今よりも技術が発展していなかった昭和の時代には何をして“おうち時間”を楽しんでいたのでしょうか。本企画展では、家の中でも特に子ども部屋に注目し、昭和の“おうち時間”を推測できるような資料を模型と共に紹介します。

昭和40年代、中学生と小学生の兄妹の子ども部屋を想定して、実際に使われていた資料から推考し、昭和の子ども部屋の再構成を行いました。模型で部屋全体のレイアウトや雰囲気を再現し、実際に昭和の子どもが使っていた資料をピックアップして展示しています。

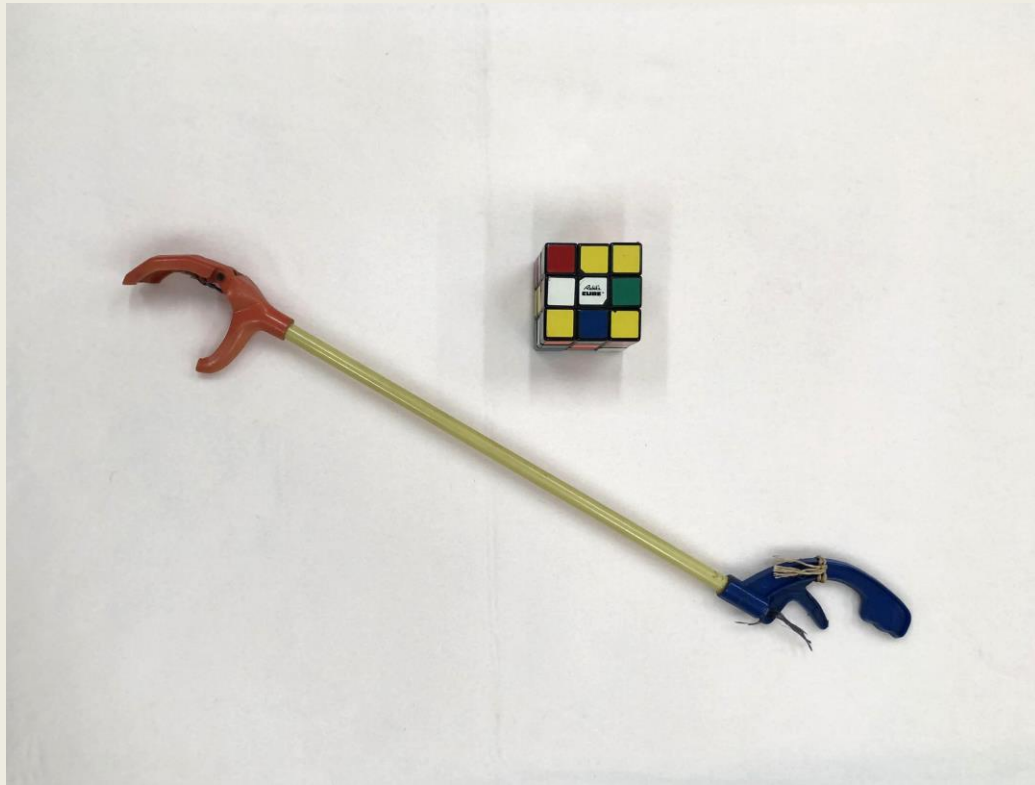
現代では当たり前前の“おうち時間ツール”が普及していなかった昭和の時代にはどのような“おうち時間”を過ごしていたのか、資料を基に想像しながらお楽しみください。

子ども部屋の模型



- ①おもちゃ箱
- ②女の子の机
- ③男の子の机
- ④ちゃぶ台

①おもちゃ箱

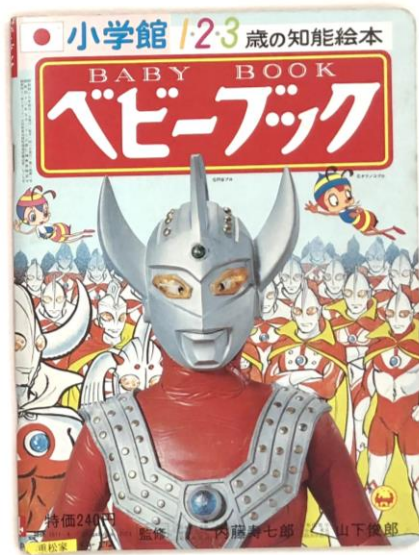


左からマジックハンド（重松家）、
ルービックキューブ（重松家）



玩具（重松家）

②女の子の机



本（津田家）



左から人形ワンピース（津田家）、
人形（津田家）、人形（津田家）

②女の子の机



左から練習帳（津田家）、
学習帳（津田家）、学習帳（津田家）



日記帳（津田家）

③男の子の机



キーボード（重松家）



左から 下敷き、文具、消しゴム、ボールペン、定規
（重松家）

④ ちゃぶ台



チェス (重松家)



ゲーム (将棋セット)
(重松家)

④ ちゃぶ台



パズル (重松家)



ベースボールゲーム
(重松家)